

政策課題研究 4

生物多様性保全・再生の戦略的推進に向けた研究

滋賀の生物多様性の保全および再生の長期的かつ総合的な視野に立った戦略的な推進に向けて、社会経済活動における生物多様性の組み込み促進方策について検討するとともに、生物多様性を低下させている要因を解析し、希少種や固有種および外来種対策のあり方を提示します。

<サブテーマ>

- ・社会経済活動における生物多様性の組み込み促進策の展望
- ・水辺希少種の優先保全地域や外来水生生物が侵入しやすい環境の提示
- ・温暖化や湖沼低酸素化に伴う琵琶湖固有種、希少種の変動要因の解析

【現状における課題】

滋賀の生物多様性:「4つの危機」 （「生物多様性しが戦略」より）

- 野生生物の捕獲による危機
- 里山の荒廃による危機
- 侵略的外来生物による危機
- 地球温暖化による危機 etc...

「生物多様性しが戦略」 の策定 (H27.3)

- しが戦略行動計画の推進強化
- しが戦略策定後の
・進んだ新たな施策展開の充実
・新たな問題への対応

【課題解決に向けた対応】

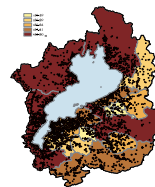
1 社会経済活動における生物多様性の 組み込み促進方策の検討

- 企業の生物多様性CSR活動のあり方やその推進方策を検討
- 生物多様性の組み込み促進方策のあり方の検討



2 生物多様性を低下させる要因の解析と 希少種・固有種・外来種対策の検討

- 水辺希少種の多様性低下要因の把握と保全地域の提言
- 侵略的外来水生植物の影響評価
- 琵琶湖固有種のモニタリングと変動要因の解析



水中ロボットで撮影したイサザ

- 社会経済活動における生物多様性の組み込み促進方策の提供
- 希少種・固有種・外来種対策のあり方を提示